

解答と解説

問14										
(1)	栽	培	環	境	を	管	理	す	る	こ
	と	が	で	き	る	(から。)		42 43		

【例】問14	
(2)	とれすぎると値段が下がってしまうので、生産量を調整する必要があるから。

44 45 46

問15
イ

47

問16									
I	燃	料	費	が	値	上	が	り	し た

48 49

問16									
II	漁	場	が	せ	ば	め	ら	れ	た

50 51

問17	問18	問19	問20	問21	問22
イ	イ	エ	エ	エ	イ

52

53

54

55

56

57

問23
ア

58

問24			
2 番 目	エ	4 番 目	オ

(完答) 59

(配点)
問7、問9(1)、問14(2)……各6点
問2(2)……4点
上記以外 各3点 合計100点

【解説】

問1 **B2** 視点を定める 置き換え 比較

九州最南端（佐多岬）は北緯約30度でエジプトの首都カイロとほぼ同じ、北海道最北端（宗谷岬）は北緯約45度でイタリアのトリノやベネチアとほぼ同じ緯度です。つまり、日本の四大島はヨーロッパとアフリカのほぼ間（地中海）の緯度に位置していることになるので、解答がイとわかります。

※アは北緯45～60度（イギリスやドイツなどは、日本よりも北に位置していることがわかります）、ウは北緯15～30度（日本最南端の沖ノ島は、北緯約20度）、エは0度（赤道）～北緯15度を、それぞれあらわしています。

問2

(1) **B1** 視点を定める 比較

この図で経線は10度ごとに引かれていますので、落ち着いて数えれば解答がわかりますし、日本の真南にはオーストラリア大陸が位置していることから、解答はイの経線と判断できたのではないのでしょうか。

※アは東経40度、ウは西経140度、エは西経40度を、それぞれあらわしています。なお、経度0度は「本初子午線」で、イギリスの首都ロンドンやアフリカ・ガーナの首都アクラ（黄熱病を研究した野口英世が亡くなった都市）などを通っています。また、経度180度の一部は「日付変更線」となっています。

(2) **B1** 置き換え

東経135度と西経90度の経度差は、225度あります（ $135+90=225$ ）。経度15度で1時間の時差が生じる（地球一周360度÷一日24時間＝15度）ので、225度は15時間の時差となることがわかります（ $225\div15=15$ ）。また、日付変更線から日本の方が時間が早く進んでいることもわかるので、西経90度を標準時子午線としている都市（シカゴやヒューストン）の時間は、日本の15時間前ということになるのです。以上のことから、日本が2022年1月1日午前0時のとき、シカゴやヒューストンは15時間前の2021年12月31日午前9時となることがわかります。

問3 **A2** 置き換え 比較

Aは佐渡島、Bは淡路島、Cは屋久島、Dは奄美大島です。奄美大島は徳之島や沖永良部島、与論島などとともになんせいしやうの奄美諸島を構成しており、鹿児島県に属しています（したがって「沖縄県に属する」が誤りです）。

2021年（令和3年）7月、世界的にも希少な固有種が多く、生物多様性の豊かな地域であるとして「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が、世界自然遺産に登録されました。国の特別天然記念物の「アマミノクロウサギ」は奄美大島と徳之島だけ、「イリオモテヤマネコ」は西表島だけ、「ヤンバルクイナ」は沖縄本島北部だけに生息する絶滅危惧種で、生物多様性を守る

のに必要な地域であることが評価対象となりました。

※日本の世界自然遺産は、1993年（平成5年）に登録された白神山地（青森県・秋田県）と屋久島（鹿児島県）、2005年（平成17年）に登録された知床（北海道）、2011年（平成23年）に登録された小笠原諸島（東京都）があります。

問4 A3 置き換え 比較 関係づけ

【Ⅰ】は岩手県を中心とする三陸海岸、【Ⅱ】は三重県の志摩半島（英虞湾、五ヶ所湾）をそれぞれあらわしています。三陸海岸ではわかめの養殖がさかんで「三陸わかめ」として知られており、志摩半島の英虞湾は真珠の養殖が初めて行われた（御木本幸吉が養殖に成功）ところとして知られています。なお、真珠は愛媛県の宇和海や長崎県の大村湾、熊本県の天草地域での養殖がさかんです。

※かき（貝）は、広島県（59%）、宮城県（15%）、岡山県（9%）での養殖がさかんです。うなぎの養殖は静岡県のはまなこが知られていますが、収穫量は鹿児島県（42%）、愛知県（23%）、宮崎県（17%）の順となっています。

問5 B2 視点を変える 置き換え 比較

3000m級の山脈が三列に並んでいるので、「日本の屋根」とも呼ばれている、イの日本アルプス（飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈）の断面図であることがわかります。なお、北アルプス（飛騨山脈）の最高峰は奥穂高岳（3190m）、中央アルプス（木曽山脈）の最高峰は駒ヶ岳（2956m）、南アルプス（赤石山脈）の最高峰は白根山・北岳（3192m）となっています。

※アも出羽山地・奥羽山脈・北上高地が三列に並んでいますが、出羽山地最高峰の鳥海山（出羽富士）が2236m、奥羽山脈最高峰の岩手山（南部富士）が2038m、北上高地最高峰の早池峰山が1917mで、断面図ほど高くありません。ウは丹後高地（最高峰は皆子山：972m）～大阪平野～紀伊山地（最高峰は八経ヶ岳：1915m）、エは中国山地（最高峰は大山：1729m）～瀬戸内海～四国山地（最高峰は石鎚山：1982m）となります。

問6 A1 置き換え

この山は長崎県の島原半島中央部に位置する雲仙岳（雲仙・普賢岳）で、1991年（平成3年）6月3日に噴火して火砕流（高温の火山灰などが山腹を高速で下る現象）が市街地に流れ込み、43名もの死者・行方不明者を出してしまいました。2014年（平成26年）9月27日に御嶽山（選択肢ウ：長野県・岐阜県）が噴火し、50名以上の死者・行方不明者が出るまで、戦後最悪の被害でした。

※1 アの有珠山（北海道）は1977～82年（昭和52～57年）にかけての噴火では3名の死者・行方不明者が出、2000～01年（平成12～13年）にかけての噴火では死者・行方不明者は出

なかったものの、大規模な地殻変動と泥流が発生し、最大16000名が避難する騒ぎとなりました。
エの新燃岳（鹿児島県・宮崎県）は2011年（平成23年）に189年ぶりに噴火し、広い範囲に降
灰の被害を出しました。

※2 浅間山（長野県・群馬県）は江戸時代の1783年に大噴火し、火砕流や利根川の氾濫などに
よって1151名もの死者を出した記録が残っています。

磐梯山（福島県）は1888年（明治21年）に噴火し、山体が崩壊したのに伴って村落が埋没し、
461名もの死者が出てしまいました。この時の噴火によって、五色沼などが形成されました。

桜島（鹿児島県）は1914年（大正3年）に58名もの死者を出した噴火で、溶岩流により大隅半
島と陸続きとなりました。

三宅島（東京都）は1940年（昭和15年）の噴火のとき溶岩流で11名の死者を出し、2000年（平
成12年）の噴火のときには全島民が避難する事態となりました（2005年に避難指示は解除され
ました）。

問7 B2 視点を変える 理由

震災から10年が経った現在でも、地元の方の意見は「残す」「解体する」で割れています。「残す」
意見の趣旨は「震災の記憶や教訓を後世に伝えるため」がほとんどで、「解体する」意見は「震
災のつらい記憶を思い出したくない」「保存するには多額の費用がかかる」が多いようです。他
には「震災遺構を目にするたび悲しみに襲われてしまうので解体した方がよい」という意見もあ
ります。震災遺構に認定されると保存に国からの費用が出ますが、「1自治体1施設」が原則な
ので、その他の遺構を残すには、寄付金などに頼らざるをえない状況となっています。現在、岩
手県宮古市の「たろう観光ホテル」や宮城県石巻市の「大川小学校」、同県南三陸町の「防災対
策庁舎（跡）」などが震災遺構に認定されています。

問8 A3 置き換え 具体・抽象 関係づけ

Aは札幌（北海道の気候）、Bは東京（太平洋側の気候）、Cは長野（中央高地の気候）、Dは
高田（新潟県上越市：日本海側の気候）、Eは高松（瀬戸内気候）、Fは那覇（南西諸島の気候）
にあたります。

札幌は冬季（12月～1・2月）の平均気温がマイナスとなるので表の「ア」、長野は1月の平均
気温がマイナスとなるので「ウ」、豪雪地域の高田は冬の降水量が特に多くなるので「キ」、那覇
は年平均気温が20度を超えているので「オ」、温暖で少雨の高松は「イ」と、それぞれ判断でき
たのではないのでしょうか。残った東京は、温暖で冬季に少雨、夏季に多雨（梅雨～台風の時期）
となるので、表の「エ」となります。

なお、表の「カ」は三重県尾鷲で、屋久島（→問3「ウ」）などとともに関係づけられてい
ます。

問9

(1) B2 視点をを変える 推論 理由

地図中に「雁里沼」など複数の三日月湖（河川の蛇行によって取り残された、三日月型の湖。河跡湖）がみられることなどから、かつて石狩川は蛇行していたことがわかります。蛇行している河川は増水すると洪水が発生しやすくなるので、明治時代から昭和時代の半ばにかけて、流路をなるべく真っ直ぐにする「直線化工事」が行われました。そのため、約100kmも短くなったのです。

地図から「かつては蛇行していた」ことに気づき、「蛇行は洪水が発生しやすい」ことに思考を向け、洪水を防ぐために「直線化した」と、まとめてください。

(2)

① B1 置き換え

2万5千分の1の地図では、標高をあらわす等高線のうち、細い実線の「主曲線」は10m間隔、太い実線の「計曲線」は50m間隔で引かれています。

●Aは0～10mの高さに位置しており、▲B（トヤケ森山）は3本の計曲線の内側にあるので、151～200mの高さに位置していることがわかります。

なお、5万分の1の地図では、主曲線は20m間隔、計曲線は100m間隔で引かれています。

② B1 置き換え

2万5千分の1の地図の1cmの実際の距離は25000cm（250m）ですので、地図中の17cmの実際の距離は4250mとなります（ $250 \times 17 = 4250$ ）。

(3) A2 置き換え 関係づけ

地図中のAは愛知用水、Bは明治用水、Cは豊川用水を、それぞれあらわしています。愛知用水は本曾川支流の王滝川につくられた牧尾ダムなどを水源としており、1961年（昭和36年）に完成しました。濃尾平野東部を通り、知多半島を潤しています。農業用水として計画されましたが、中京工業地帯の工業用水としての利用の方が多くなっています。

※矢作川から取水している明治用水は1880年（明治13年）に完成し、岡崎平野西部の台地を灌漑しています。また、天竜川の水を佐久間ダムなどから取水している豊川用水は1968年（昭和43年）に完成し、豊橋平野東部～渥美半島などを潤し、農業や工業、飲料水などに利用されています。

問10 A3 視点をを変える 具体・抽象 比較

水資源量の合計から、ウとエは国土面積の広いアメリカかインドであることが判断できたのではないのでしょうか（農業に90%使用しているウはインド、工業に約50%使用しているエはアメリカです）。

残るアとイ（どちらかが日本、片方がイギリス）を比べると、大量に水を使用する水稻栽培が

さかんな日本が、農業に68%を使用しているので「イ」とわかります。

問11 A1 置き換え

ふだん、何気なく目にしているマーク（容器包装の法定「識別マーク」といいます）ですが、図の中に書かれている文字を消すと、判断に迷いますね。アは「紙製」、イは「アルミ缶」、ウは「スチール（鉄）缶」、エは「プラスチック製」を、それぞれあらわしています。



問12 A2 分類

米の収穫量の多い10都道府県の表を見ると、東北地方が5県（秋田、山形、宮城、福島、青森）、関東地方が3県（茨城、栃木、千葉）、北陸地方が1県（新潟）であることがわかるので、解答はアの「1位：東北地方、2位：関東・東山地方、3位：北陸地方」と判断できたのではないのでしょうか。

問13 A1 知識

牛は肉用牛・乳用牛とも飼育頭数は北海道が第1位（肉用牛は20.5%、乳用牛は60.1%）ですが、肉用牛は九州（鹿児島県・宮崎県・熊本県）での飼育がさかんで、この3県で28.5%を占めています（内訳は、鹿児島県：13.5%、宮崎県：10.0%、熊本県：5.0%）。根釧台地での酪農がさかんなことを思い出すと、北海道が60%を占めるⅠの表は「乳用牛」とであると判断できたのではないのでしょうか。また、豚は九州南部での飼育がさかんで、鹿児島県と宮崎県が飼育頭数第1位・第2位となっていることから、Ⅱの表が「豚」とであることも判断できます。

※採卵鶏は、茨城県（8.3%）、千葉県（6.8%）、鹿児島県（6.4%）の順、肉用若鶏（ブロイラー）は、宮崎県（20.4%）、鹿児島県（20.2%）、岩手県（15.7%）の順となっています。

問14

(1) B1 理由

野菜工場は、植物の成長に必要な水や光、二酸化炭素などの栽培環境を人工的に管理することができるので、季節や気象条件などを問わずに農作物を栽培でき、品質と収穫量を安定させることができるのです。この問いは抜き書きですので、本文から文字数にピタリと合う部分を探さなければなりません。すると、「栽培環境を管理することができる」という部分に目が止まったのではないのでしょうか。

(2) B2 視点を変える 理由

農作物は、とれすぎると値段が下がってしまうことがあります。これを「豊作貧乏」といい、農家はとれすぎた野菜を処分することによって出回る量を調整しているのです。

例えば、レタスが100個とれたとき、買いたい人が100人いて、1個100円で売れたとします。しかし、200個とれたときでも買いたい人が100人しかいなかったらどうなるのでしょうか。200個とれたからといって買いたい人も200人に増えるということはないので、農家は値段を下げることによって、より多くの人を買ってもらおうとします。つまり、たくさんとれたからといって、収入が増えることにはならないのです。そのため、農家はとれすぎた野菜を処分することによって、出回る量を調整しているのです。

※1 とれすぎてしまうと値段が下がって箱代や運送費にもならないうえ、そのまま畑にほうっておくと野菜が腐って土が悪くなってしまうので、農家はせっかく作った作物を捨ててしまうのです。

※2 豊作貧乏は農家だけではなく、水産業などにも例が見られます。

※3 そもそも、物やサービスの値段は、売り手（生産者）と買い手（消費者）の関係によって決まります。売り手はふつう、価格が高くなるにつれて生産量を増やし、反対に、安くなるにつれて生産量を減らします。一方、買い手は価格が安くなるにつれてより多く買おうとし、高くなるにつれて買う量を減らします。売り手の量を「供給量」、買い手の量を「需要量」といい、基本的に物やサービスの値段（価格）は、この関係によって決まります。

問15 A2 特徴的な部分に注目する 比較

青森県（りんごの生産日本一）、和歌山県（みかんの生産日本一）、長野県（りんごとぶどうの生産日本第2位）、山形県（おうとうと西洋なしの生産日本一）、山梨県（ぶどうとももの生産日本一）という順からⅡが果実の産出額、北海道（乳用牛と肉用牛の飼育頭数日本一）、鹿児島県（豚の飼育頭数日本一）、宮崎県（肉用若鶏：ブロイラーの飼育頭数日本一）、岩手県、千葉県という順からⅣが畜産物の産出額と、それぞれ判断できたのではないのでしょうか。特に畜産物は、問13の表がヒントになります。Ⅰは野菜の産出額で、北海道はにんじんやたまねぎ、かぼちゃ、ブロッコリーなどの生産日本一、茨城県はピーマンやメロン、れんこんなどの生産日本一、千葉県はねぎやかぶなどの生産が日本一となっています。Ⅲは工芸作物の産出額で、北海道はてんさい（砂糖大根・サトウダイコン）となたねの生産日本一、鹿児島県は茶とサトウキビの生産日本第2位、沖縄県はサトウキビの生産日本一となっています。

問16

I : A2 具体・抽象

石油危機（石油ショック・オイルショック）は1973年（昭和48年）に発生した「第四次中東戦争（イスラエル対アラブ諸国）」にともない、産油国が行った輸出制限と石油価格の引き上げに

よる経済混乱^{けいざいこんらん}をいいます。これによって原油価格は一挙に4倍となり、多量の燃料^{ねんりょう}を必要とする遠洋漁業は大きな打撃^{だげき}を受けたのです(第一次石油危機)。このことから、「燃料費が値上がりした」という解答が導き出せます。

※石油危機は日本などの石油消費国に石油不足や物価^{ぶつ か}の急激な値上げ^{きゅうげき}(インフレ：インフレーション)などをもたらし、深刻な不況^{しんこく}(不景気^{ふきょう})となりました。なお、1978～80年(昭和53～55年)にかけても石油価格が2.4倍に上昇し、「第二次石油危機」と呼ばれました。

Ⅱ： **A2** 具体・抽象

地球の約70%を占める海についての国際問題^{こくさい かいけつ}を解決するために、1958年(昭和33年)からたびたび国際連合で「海洋法会議」が開かれ、沿岸国^{えんがんこく}の領海^{りょうかい}や排他的経済水域^{はいたてきけいすいいき}の設定など、さまざまな取り決めがなされました。1973年に始まる第3回国連海洋法会議以後、多くの国が200海里(1海里は1852m)の経済水域を設定するようになったため、魚を獲^とる地域^{かぎ}が限られるようになりました。このことから、「漁場がせばめられた」という解答が導き出せます。

※1 1982年(昭和57年)に「国連海洋法条約」が採択され、海は領海12海里、経済水域200海里、いずれの国にも属さない公海に区分されました。

※2 I・Ⅱとも「10字以内」でまとめなければならないので、表現に工夫^{ひょうげん}をしましょう。特にⅡは「魚をとる場所がせまくなった」だと13字、「魚をとる場所が限られた」だと11字となるので、「漁場がせまくなった」など、うまくまとめてください。

問17 **A1** 知識

日本は1960年代に安価^{あん か}な中東産石油が普及^{ふく}したことから火力発電が電力の主力となったのですが、1970年代、2度の石油危機により(→問16)、石炭や天然ガスの利用^{かくだい}拡大とともに原子力発電が導入^{どうじゅう}されました。一時は原子力発電が約30%を占めるまでになったのですが、2011年(平成23年)の東日本大震災の津波による福島第一原発事故以降は国内の原発が相次いで運転停止するようになり(現在、数基しか稼働^{さくどう}していません)、火力発電で停止中の原発^{おきな}を補ったため、発電電力量の多くを火力発電が占めるようになったのです。このことから、火力発電の割合が高く、原子力発電の割合が低い「イ」のグラフが日本であると判断できます。なお、「脱炭素」が課題となっている今後は、太陽光や風力などの新エネルギー発電に注目が集まっていくとみられています。

※1 アはアメリカ、ウはフランス(原子力発電の先進国で、割合^{ひじょう}が非常に高い特色があります)、エは中国(今後、原子力発電の割合が高くなっていくとみられています)を、それぞれあらわしています。

※2 グラフにはありませんが、世界に先駆^{さきが}けていち早く「脱原発^{だつ}」を打ち出したドイツは、新エネルギーの割合が高い特色となっています(火力：61.8%、新エネルギー：22.5%、原子力：11.7%、水力：4.0%)。

問18 A2 特徴的な部分に注目する 比較

I～Ⅲ：次の都市で、重化学工業がさかんです。

- ・鉄鋼業：北海道室蘭市、茨城県鹿島地区、千葉県君津市、神奈川県川崎市、愛知県名古屋市、和歌山市、兵庫県加古川市、岡山県水島地区、広島県福山市・呉市、福岡県北九州市、大分市など。
- ・輸送用機械：代表は自動車で、群馬県太田市、埼玉県狭山市、東京都日野市、神奈川県横浜市・横須賀市・藤沢市、静岡県浜松市、愛知県豊田市・岡崎市・田原市・刈谷市、大阪府池田市、広島県広島市・府中町、福岡県宮若市・苅田町など（→問19）。
- ・化学工業：茨城県鹿島地区、千葉県千葉市・市原市・袖ヶ浦市、神奈川県川崎市、三重県四日市市、大阪市、岡山県水島地区、山口県岩国市・周南市、大分市などで、いずれも原料の輸入から生産までを結びつけた「コンビナート」を形成しています。

IV・V：次の都市で、軽工業がさかんです。

- ・食料品工業：原料の産地に近い北海道札幌市（乳製品やビールが有名）・帯広市（乳製品・製糖業）・釧路市や函館市（ともに水産加工）のほか、大消費地に近い埼玉県草加市（せんべいが有名）・狭山市（茶が有名）など。
- ・繊維工業：愛知県一宮市・津島市（ともに毛織物）、岡崎市（化学繊維）・豊橋市（綿織物）、大阪府泉大津市・貝塚市・泉佐野市（綿織物）、福井市（絹織物：羽二重で有名）、岡山県岡山市・倉敷市（学生服の生産日本一として知られています）など。

※以上の都市を思い起こすと、Iが輸送用機械、IIが化学、IIIが鉄鋼、IVが食料品、Vが繊維と、判断できたのではないでしょう。

問19 A2 比較

ア：自動車は、主にプレス（鉄板を打ち抜いたり曲げたりして、屋根やドアなど、車体の部品を作る工程）→溶接（プレスしてできた部品を、つなぎ合わせる工程）→塗装（車体に色を塗る工程）→組み立てという順で行われますので、「塗装」と「組み立て」が逆です。先に組み立ててしまうと、色を塗る際、窓ガラスなどに塗料がついてしまう可能性が高くなってしまいます。

イ：自動車工業は組み立て作業が中心のため、金属工業や化学工業のように臨海部に立地する必要性はありません。問題文に出ている豊田市と宮若市、太田市は、いずれも内陸に位置しています。なお、愛知県豊田市は「拳母市」という名でしたが、1959年（昭和34年）、トヨタ自動車にちなんで「豊田市」と改称しました。豊田市の住民の約80%がトヨタ自動

車にかかわる仕事についており、「企業城下町」の代表例として知られています。

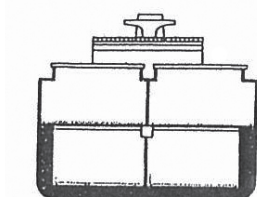
ウ：中国には日本の自動車メーカーの組み立て工場が多く進出しており（四輪自動車工場数は19。第2位がインドネシアとタイで、16。次いでアメリカの14）、逆輸入もされていますが、それほど多くはありません。日本の自動車輸入先の第1位（2019年：金額による）はドイツ（43.7%）、第2位がイギリス（10.5%）、第3位がアメリカ（9.4%）で、イタリア（6.0%）、オーストラリア（4.7%）、南アフリカ共和国（3.6%）、スウェーデン（2.9%）の順となっています。

※自動車部品の輸入先第一位は中国（36.9%）で、以下、タイ（11.6%）、ドイツ（8.0%）、韓国（7.7%）、ベトナム（5.9%）の順となっています。

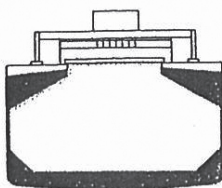
エ：名古屋港・三河港・横浜港は日本の自動車の三大輸出港で、自動車輸出額の約60%を占めています（名古屋港は27%、三河港は20%、横浜港は11%）。

輸出入には断面図で示された専用船が使用され、一度に5千台以上の自動車運ぶことができます。

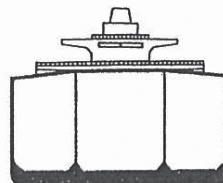
※主な船の断面図



一般貨物船



鉄鉱石などを運ぶばら積み船



タンカー

問20 **A2** 置き換え

人件費（労働者に支払う賃金）などが安いことから、タイやインドネシアの他、ベトナム、フィリピン、マレーシア、シンガポールなど、東南アジア地域に進出する法人（企業）が多くみられます。

業種としては、輸送用機械や情報通信機械、電気機械、化学、石油・石炭、食料品、繊維などが多く、現地で販売している他、日本向けの輸出や第三国に向けた輸出が行われています。

問21 **A1** 知識

原油の産出量はアメリカ（15.3%）、ロシア（14.0%）、サウジアラビア（12.2%）、イラク（5.9%）、カナダ（5.5%）、中国（4.8%）、アラブ首長国連邦（3.9%）、ブラジル（3.5%）、クウェート（3.4%）、イラン（3.0%）の順となっています。

日本は石油危機（→問16）の反省から原油輸入の中東依存を減らそうとし、一時は67.5%まで

下がりました（1987年）が、現在は88.4%にまで増えてしまっています。

中東以外で最大の輸入先はロシアですが、米中貿易戦争や新型コロナウイルスの流行によって原油は需要減（買い手の減少）となったので、中東やロシアなどの産油国は減産を決定し、今後の動きが注視されています。

※原油の輸出は、第1位がサウジアラビア（15.5%）、第2位がロシア（11.3%）、第3位がカナダ（7.7%）、第4位がイラン（5.2%）、第5位がアメリカ（2.5%）の順となっています。

問22 A1 知識

一人の女性が一生のうちに生む子どもの数を平均した数値を「合計特殊出生率」といい、人口規模を維持するには2.1が必要とされています。人口減少社会となっている日本は1.36（2019年）でしたが、インドは2.33（2016年）、アメリカは1.80（2016年）、中国は1.62（2016年）、大韓民国は0.84（2020年）で、インドの数値が目立って大きくなっています。インド（人口：13億7千万人：2019年）は人口増加が著しく、2027年には中国（人口：14億3千万人：2019年）を抜いて世界一になるとみられています。

※1 2019年の世界の人口は約77億人ですが、2050年には97億人、今世紀末には110億人でピークになると、国際連合で予測されています。なお、世界の合計特殊出生率は、平均すると1990年が3.2、2019年が2.5で、2050年には2.2になると予測されています。

※2 日本の第一次ベビーブーム（1947～49年）のときの1949年（昭和24年）の合計特殊出生率は4.32、第二次ベビーブーム（1971～74年）のときの1971年（昭和46年）は2.16でした。2005年（平成17年）、過去最低の1.26を記録しています。

※3 大韓民国は昨年（2020年）の合計特殊出生率が0.84と発表しましたが、1を下回るのは3年連続となりました。急激に進む少子化により、人口減少社会となっています。日本と同じく、結婚する年齢が遅くなる「晩婚化」や仕事と育児の両立支援の不足などが、理由に挙げられています。

問23 A2 置き換え

世田谷区は23区の南西に位置し、多摩川をはさんで神奈川県川崎市と接しています（地図A）。明治時代末期から昭和時代初期にかけて、京王線や小田急線、井の頭線などが相次いで開通すると、私鉄沿線を中心に住宅地が形成されていきました。なお、世田谷区（58km²）は、23区のうち大田区（61km²）に次ぐ面積があります。皇居を中心としている千代田区（地図Y）には、日本の政治の主要機関が集中している永田町や霞ヶ関があり、また、日本のビジネスの中心として、丸の内や大手町にオフィス街が形成されています。西部には高級住宅街が形成され、北部の神田は商工業がさかんなことで、北東部の秋葉原は電気街として知られています。

※Bは落語の「サンマ」で知られ、1923年（大正12年）に発生した関東大震災以降に市街地化が進んだ目黒区、Zは日本橋地区に日本銀行があり、日本有数の繁華街として知られている銀座などがある中央区です。

問24 B1 具体・抽象 順序立てて筋道をとらえる

性別・年齢別の人口構成をあらわしたグラフを「人口ピラミッド」といいます。縦軸に年齢、横軸に男女別の人口割合をとり、各年齢層ごとに示したもので、過去のグラフをみることで性別・年齢別の人口構成が理解でき、また、現在のグラフをみることで、将来の性別・年齢別の人口構成を予測することができます。

人口ピラミッドは、多くは「富士山型→釣り鐘型→つぼ型」へと移行します。低年齢層の割合は国が発展するほど低下し、逆に高年齢層は発展するほど比率を高めるのが特徴で、最近の日本は「逆さひょうたん型」となっています。

以上のことから、富士山型の「ウ」→釣り鐘型の「エ」→つぼ型の「ア」→同じつぼ型の「オ（高年齢層が増加し、低年齢層が減少しています）」→逆さひょうたん型の「イ」となることがわかります。

※1 富士山型：「ピラミッド型」ともいい、人口全体に占める定年齢層の割合が大きく、高年齢層が非常に小さい特徴となっています。人口が徐々に増加していく「多産多死型」、人口が急増する「多産少子型」にみられます。

※2 釣り鐘型：「ベル型」ともいい、低年齢層と高年齢層の差が小さい特徴となっています。人口が徐々に増加したり、人口増加が停滞する「少産少死型」にみられます。

※3 つぼ型：低年齢層よりも高年齢層の割合が高い特徴となっています。釣り鐘型よりもさらに出生率が低下した場合にみられ、人口は停滞もしくは減少していきます。

※4 星型：若年層を中心とした生産年齢人口（15～64歳）が多く、高年齢層や低年齢層が少ない特徴となっています。生産年齢人口の転入が多い大都市にみられます。

※5 ひょうたん型：生産年齢人口が少なく、高年齢層や低年齢層が多い特徴となっています。生産年齢人口の転出が著しい農村部に多くみられます。

（記述問題の採点について）

・明らかな誤字・脱字がある場合…－1点

問7

・「残す」・「解体する」のどちらも○で囲まれていない場合、理由については記述内容の如何に関わらず、不正解となります。

問14(1)

・15字で抜き出していない場合…不正解

問16 I・II

・指定字数をオーバーした場合…不正解

